



I have in front of me a charming image of my Olnick Spanu house, just finished in Garrison, New York.

It was taken by Miguel Quismondo, a very good Spanish architect who has been my right hand building this radical house in the States.

He had a sharp eye when he took this image. The Olnick Spanu house is like it appears in this shot. We know how enormously difficult it is to translate the soul of a building through an image. And it occurs here. The house is like that.

But, I must confess a little trick. I complained in my office because the parallelism between the horizontal lines was not absolutely perfect. Miguel Ciria, a collaborator, took the image and in only 5 minutes it was corrected. The result was fascinating as you can verify: an icon.

Alberto Campo Baeza

*Olnick Spanu House, designed by Alberto Campo Baeza. Garrison, New York, USA. 2008. Photograph by Miguel Quismondo.*

私の目の前には、私が設計しニューヨーク州ガリソンに竣工したばかりのオルニック・スバヌ邸の美しい写真がある。

この写真は、米国にこのラディカルな住宅を建てるにあたって私の右腕となってくれた優秀なスペイン人建築家、ミゲル・キスモンドが撮影したものである。

彼は透徹した眼力をもってこの写真を撮影している。オルニック・スバヌ邸は、まさにこの1枚に収められた姿そのものごとくに存在している。我々は、1枚のイメージを通して建物の神髄を伝えることがいかに難しいかを知っている。そして、ここにはそれがとらえられている。住宅はまさにこの写真のようにある。しかし私は、ちょっとしたトリックを告白しなければならない。私は水平線の間の平行関係が絶対的に完璧ではないことが気にかかり、事務所で不満を口にした。コラボレーターの1人であるミゲル・シリアがその写真をもっていき、ほんの5分ほどで問題は修正された。その結果は、誰もが認めるように感動的なもの、1枚のアイコンであった。

アルベルト・カンボ・バエザ  
(中田雅章訳)

アルベルト・カンボ・バエザ設計、オルニック・スバヌ邸。米国、ニューヨーク州、ガリソン。2008年。ミゲル・キスモンド撮影。



